

## 全国的にも稀な産学連携での現役プロ選手の常設サッカースクールの立ち上げ

「地域のために自分たちにももう少し何か出来ることがあると思うのですが…」。コンサドーレ札幌の最年長選手として12年半活躍した後、今年7月半ばからFC岐阜に所属する砂川誠選手から、こうした問いかけがあったのは、2013年のシーズンオフであった。筆者の専門の1つはスポーツツーリズムである。以前からスポーツでの地域振興や交流創出の重要性は認識しており、何が出来るか回数を重ねて意見交換をしていくこととなった。とはいえ、現役のプロサッカー選手である。スケジュール、コンディション管理、外部対応など、何かを始めるにも様々なハードルがあることは容易に想像できた。だが、砂川選手へ何度かヒアリングを行うと、その根底にはより地域とサッカーを通じた関わり合いを持ちたい、もっとサッカーがしたいという強い思いがあることが伝わってきた。そうして、現役選手である強みをいかした「現役選手が教える常設のサッカースクール」という明確なコンセプトが生まれた。持てる技術を継続的に地域の子供たちに伝え、上達に貢献していくものである。コンセプトは非常にわかりやすいものの、練習、試合、移動など通常の選手活動を行いつつ、こうしたスクールを継続するには、選手本人に相当な覚悟が必要なことは明らかであった。2014年に道内数カ所での予備調査や試行的なサッカー教室等を実施し、徐々に目指すスクールの形が出来上がっていったのである。

### 北海道の子供に小野伸二選手の姿勢と技術を伝える

スクールの理念は固まったが、教室を具現化して開催するためには、共に具体的な検討や指導に参画できる仲間が、この事業に不可欠である。砂川選手にも同じ認識は既にあり、砂川選手自らパートナーを探す中、2015年の春にその候補が決まった。かつて、18歳の若さで1998年フランスW杯日本代表に抜擢され、現在コンサドーレ札幌に所属する小野伸二選手がこのスクールに賛同・協力してくれることになった。彼ほどの才能や実績を持った人間が、自分の時間を使って北海道

# 子供たちの笑顔で地域を元気に プロサッカー選手 砂川誠・小野伸二選手の 活動から



砂川選手と小野選手

## 遠藤 正 (えんどう ただし)

北海道大学観光学高等研究センター客員准教授

1967年札幌市生まれ。北海道の地域活性化についてスポーツツーリズムの視座と産学連携のスキームを基に実践的な研究を行っている。また、今回紹介するSuna×Shinjiサッカースクールでは事務局長の役割を担い、プロスポーツと地域のより良い連携を模索中である。

<http://tadashiendo.com>



の子供たちのサッカーレベル向上に加わってくれるなら、これほど素晴らしいことはない。砂川選手は千葉県、小野選手は静岡県出身で、両名とも道外出身者である。そんな二人が、この北海道を大いに気に入り、北海道の次世代の育成に貢献したいという共通した意識があったこともこの動きにつながった。こうして、小さいながらも産学連携による、全国的にも珍しいプロ選手による常設型のサッカースクールが本格スタートしたのである。

### 砂川誠・小野伸二選手が伝えているもの

2015年7月無事サッカースクールは開校した。札幌市内で週に2回、毎回2時間指導を行う。スクール初日は、指導陣、事務局、生徒、父兄、皆が緊張した中で始まった。しかし、砂川選手・小野選手がボールを蹴り、素晴らしい技術を目の当たりにすると子供たちの目の輝きが一気に増し、熱のこもった指導と共に場の雰囲気は一転した。両選手が素晴らしいのは、生徒のサッカーレベル向上を常に考え、個々の長所を伸ばすべく自らの経験や感覚を惜しみなく伝える点である。砂川選手は、自らのプレーの特徴を伝えるかのようにゲームメイクできる能力育成をめざし、毎回指導を行っている。ボールをもらうポジショニング、フィールドを俯瞰する目線、鮮やかなフリーキックを支えるボールの蹴り方など、一説には選手生命の平均が20代後半とも言われるJリーグで20年培ってきた技術を北海道の子供たちに伝えている。

一方の小野選手。技術はもちろん、生徒に頻りにサッカーに対する取組み姿勢を伝える。「才能があったとしても、練習した者に抜かれる。何度となくそういった場面を見てきた」と。天才と言われる小野選手が「練習」の重要性を幾度も伝えることで子供たちがその重みを実感し、より一層日々の練習への意欲が高まっていく。また、小野選手は子供たちの良さや才能がより引き出されるよう、子供の特徴を分析し、個別に言葉をかけ動機付けも行っており、生徒とのコミュニケーションを重視した指導も特筆できる。



### 砂川誠選手の移籍と新たな体制

スクールがスタートして1カ月も経たない中、砂川選手のFC岐阜への移籍が突然発表された。事務局では、父兄や生徒に向けて緊急の説明会を開催し、砂川選手本人の言葉で説明することとした。FC岐阜への移籍の発表は、本年7月18日札幌ドームの試合会場でファンの前で行われ、その足で砂川・小野両選手が説明会会場に向かった。砂川選手が「現役でゲームに出る場を求めた結果であり、スクールは責任を持って継続します」と力強く説明。小野選手も「残った自分たちがしっかり運営していく」と伝えた。ご理解をいただいた父兄、関係者の皆様に改めて御礼を申し上げたい。また、砂川選手が不在時の指導者として、元コンサドーレ札幌の選手であり、現在スポーツ解説などでも活躍する大森健作氏に加わることとなった。テレビ解説や取材などで常に現場を見ている大森氏の指導は的確であり、毎回歯切れ良く大きな声で子供たちを指導している。

### 北海道の次世代の未来へ向けて

スクール関係者は、来年度も活動を継続すると共に、条件などが整えば北海道各地域で指導を行い、道内のサッカー好きな子供たちを応援したいと考えている。砂川選手や小野選手の「本州に在住していた子供の頃、近隣都府県の上手な同年代選手を見て、刺激を受け、練習に励んだ。一方、北海道の子供たちにはこうした機会が少ない。自分たちがトップの技術や姿勢を見せることで、子供たちはより自分の目標や課題がはっきりするだろう」との想いからである。サッカー好きな子供たちが、この活動をきっかけに、自分の夢や目標に向かって日々充実した時間を過ごせたなら、私たち関係者一同は本望である。また、3名の指導者は異口同音に「子供たちの上達の早さに驚かされる」と述べており、今後もより一層熱の入った指導を行っていく所存である。

詳しいスクールの活動はホームページ (<http://sunashinji.com>) に掲載されているのでご覧いただきたい。こうした活動を理解いただき、気軽に地域の皆様からご要望等をお聞かせいただければ幸いです。事務局へお気軽にお声掛けいただきたい。